

第3回技術者連携交流分科会を開催

—技術者連携交流分科会—

令和2年2月12日（水）協会会議室において、吉岡大蔵委員長（国土交通省大臣官房技術調査課技術企画官）はじめ委員6名の出席のもと、技術者連携交流分科会が開催されました。

分科会では、下記の議題について討議を行いました。今回いただいた意見を踏まえて、最終のとりまとめを行います。とりまとめ内容については、月刊「建設」やホームページ等で会員へ周知していきます。また、企画委員会に報告します。

- 「建設技術関係者の推進交流の推進について」のとりまとめについて

—主な意見

- ・若手の建設技術関係者は、与えられた業務を遂行するだけでなく、インフラの整備・管理を通じて社会に貢献するという使命があることを深く自覚し、多様な建設技術関係者と連携交流を図り、自分自身を成長させる努力を積み重ねていくことが必要である。
- ・上司・先輩の建設技術関係者は、連携交流によって自分自身が成長し、自分自身の業務を全うしていくことは重要である。また、それらと同程度に又は同程度以上に部下・後輩を育成するという重要な責務があり、若手の育成を通して自らが成長していくということを認識すべきである。
- ・OBは、長年にわたり培ってきた貴重な経験や知見を有している。適切に連携交流を図り、現職公務員の建設技術関係者の成長に寄与することによって社会に貢献することは、OBの建設技術関係者に期待される役割である。

第662回建設技術講習会を鹿児島市で開催

第662回建設技術講習会が、鹿児島市で令和2年2月19日（水）～21日（金）の3日間、「道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題」をテーマに、全国から358名の参加を得て開催されました。

講習会初日は、下記の2講演と講習会3日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- 「令和」の建設行政と公務員技術者について
- いま社会資本に何が求められているのか
- 地域事業の紹介 2事例

講習会2日目は、道路部門と港湾・漁港部門の2会場に分かれ、それぞれ下記の講演が行われました。

【道路部門】

- 道路の老朽化対策の取り組みについて
- 道路行政における主要政策課題について
- 高度道路交通システム（ITS）を巡る最近の動向について
- 道路の防災対策について
- 道路交通安全施策をめぐる最近の動向について

【港湾・漁港部門】

- 漁港漁場行政における最新情報について
- 港湾行政における主要政策課題と「PORT 2030」について
- 港湾事業におけるi-Constructionの取り組みについて
- 港湾施設の維持管理に関する取り組みについて
- 昨今の災害による港湾の被災状況と対応

講習会3日目の現場研修は、225名が参加して「鹿児島北バイパス整備事業」「鹿児島東西幹線道路建設事業」「牛根麓漁港浮防波堤」「街路事業 新町線2」について現地説明を受けました。

また、1日目の講習終了後、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を59名の参加をいただいて開催しました。地元の料理とお酒をいただき、島唄が披露されるなど和やかな雰囲気の中で参加者同士の意見交換が行われ、盛況のうちに終了となりました。



芝浦工業大学客員教授（一財）建設業技術者センター 谷口博昭理事長の講演の様子



現場研修の様子「街路事業 新町線2」

令和元年度全建賞の審査が始まりました

—全建賞予備審査委員会—

令和元年度全建賞については、全国から303事業という多数の応募をいただき、ありがとうございました。

この審査の手始めとなる「全建賞予備審査委員会（第1回）」が、令和2年2月21日（金）、協会会議室において岡村次郎委員長（国土交通省大臣官房技術調査課長）はじめ委員9名と委員代理1名、幹事8名の出席のもとに開催されました。

予備審査委員会では、審査方法など下記の事項を確認し、事務局からの説明とおりに予備審査を進めることが了承されました。

- 全建賞について
- 審査日程ならびに応募状況について
- 各予備審査委員の担当部門（案）について
- 予備審査方法等の確認について

授賞の決定までには、3月下旬の第2回予備審査委員会で授賞候補事業を絞り込み、4月下旬の審査委員会で授賞候補事業を選定し、その後開催される理事会で全建賞を決定する、という手順を踏んでいきます。

第257回研修委員会の書面による決議

令和2年3月17日（火）に予定していた研修委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を考慮して委員会の開催を中止し、書面による決議を行いました。岡村次郎委員長（国土交通省大臣官房技術調査課長）はじめ委員16名に、書面をもって意見を求めた結果、下記の議事については原案のとおり承認いただきました。

- 令和2年度建設技術講習会テーマの内容について
- 令和2年度実地研修会について
 - * 明石海峡大橋
 - * 東日本大震災の復興の現状
 - * 平成28年熊本地震の復旧・復興と立野ダム建設事業
 - * 立山カルデラ

機関誌編集委員会の書面による決議

—機関誌編集委員会

令和2年3月19日（木）に予定していた機関誌編集委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を考慮して委員会の開催を中止し、書面による決議を行いました。遠藤仁彦委員長（国土交通省港湾局技術企画課長）はじめ委員26名に、書面をもって意見を求めた結果、下記の議事については原案のとおり承認いただきました。

- 月刊「建設」6月号編集計画
 - * 特集 災害に強い安全な国土づくり
- 月刊「建設」7月号編集計画
 - * 特集 社会資本の戦略的な維持管理
- 月刊「建設」8月号編集計画
 - * 特集 令和元年度表彰

大石会長が衆議院予算委員会公聴会で意見陳述

令和2年2月25日（火）の第201回国会衆議院予算委員会公聴会に大石全建会長が出席し、意見陳述を行いました。防災・減災、国土強靱化の視点から、強力なインフラ整備で防災力とわが国の競争力の強化を図るべきだということ述べられました。詳細については、全建ホームページをご覧ください。

「大石久和のラジオ国土学入門」の放送時間が変更

大石全建会長が出演しているラジオ番組「大石久和のラジオ国土学入門」の放送時間が、令和2年3月23日（月）から下記のとおり変わりました。

番組概要：美しいニッポンを後世に残すために、私たちは、いかに国土に働きかけていくべきか。多発する自然災害や急激な気候変動のもとで、私たちは、この国土とともにどのように生きてゆけばいいのか。「国土に働きかけることによって、はじめて国土は恵みを返してくれる」と提唱する『国土学』の大石久和が、ニッポンの進むべき道を熱く語ります。

日 時：毎週月曜日 18：40～19：00

放送局：ニッポン放送（AM1242、FM93）

※放送局、周波数等は地域により異なる場合があります（番組HPからも聴くことができます）。